

次の古文を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

*宇治の関白殿、あるとき、鼎殿に到つて、火を焼くところを見る。鼎殿見て曰はく、何者ぞ、左右なく御所の鼎殿に入るはと言つて、追ひ出だされて後、先の悪き衣服を脱ぎ改めて、顛々として取装束して、出で給ふ。時に、前の鼎殿、遙かに見て、恐れ入つて逃げぬ。時に、殿下、装束を竿に掛けられて、押せられけり。人、これを問ふ。答へて曰はく、「我、人に貴びらるるも、我が徳にあらず。ただ、この□のゆゑなり。」

（「正法眼藏隨聞記」より）

(3) □にあてはまる言葉を、文章中から漢字二字で書き抜きなさい。

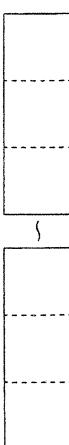
(4) ——線②「ゆゑ」を現代かなづかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

(5) この文章を通して作者が言おうとしていることを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人はしばしば、その外見だけで相手を判断するものだ。
イ 人からあなたがれぬように身なりを整えることが大切だ。
ウ 時間や場所をわきまえ、それに合った行動をとるべきだ。
エ 徳のある人は、粗末な服装でも人から尊敬されるものだ。

(1) この文章で人の言った言葉は「　」でくくられているが、もう一か所、会話文として「　」をつけるべきところがある。その初めと終わりの三字を書き抜きなさい。

(2) ——線①「追ひ出だされて」とあるが、だれが、だれに追い出されたのか。文章中から書き抜きなさい。



□に追い出された。

注 *宇治の関白殿 || 藤原頼通。

* 鼎殿 || 湯をわかす所。また、そこに仕える役人。
* 左右なく || 勝手に。 * 顛々 || 威勢のある様子。